

地域の防災力を高め

災害に備えましょう

9月には「防災月間」です。大正12年9月1日に発生した関東大震災によって大きな被害を受けたことをきっかけとして、地震や風水害などの災害に対する防災意識を高めるために、9月1日は「防災の日」として制定されています。

近年、東日本大震災や熊本地震など各地で大災害が発生しており、今後同じような災害が発生してもおかしくありません。

「自助」「共助」「公助」のそれぞれの重要性をよく認識し、一人ひとりが災害に対する備えをしておきましょう。

《自助》

「自らの生命は自らが守る」という『自助』の意識のもと、普段から災害に関する知識を身に付け、地震が発

生したときでも適切な行動がとれるように、防災訓練などに積極的に参加して防災行動力を高めましょう。

《共助》

「自分たちのまちは自分たちで守る」という『共助』の意識を地域全体で共有し、地域の皆さんが一体となり協力して助け合い、地域の協働体制づくりを進め、いざというときに備えましょう。

《公助》

個人や地域では解決できないことに対して、町や消防、警察などの行政機関や公共企業が行う支援により、災害時における被害を最小限にとどめるための取り組みを行っています。

弾道ミサイル発射時の行動について ～爆風や破片などによる被害を避けるために～

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください

<屋内にいる場合>

できるだけ窓から離れるか
窓のない部屋に移動し
頭部を守る



<屋外にいる場合>

速やかに近くの
建物(頑丈)
に避難する



<屋外にいて、近くに建物がない場合>

物陰に身を隠すか
地面に伏せて頭部を守る



弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線でサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メールなどにより緊急情報をお知らせします。

詳細については、国民保護ポータルサイト(<http://www.kokuminhogo.go.jp>)をご覧ください。

問 町民生活課 ☎72-6933